

女性起業家が経営の心構え語る

金沢でセミナー

金沢市の女性起業家交流会と北陸総合通信局の「女性起業家お悩み解消セミナー」(本社後援)は十八日、同市の労済会館で開かれ、起業を考える北陸三県の女性約四十人がパネルディスカッションなどを通して会社経営に必要な心構えなどを学んだ。

パネルディスカッションでは、ジーアンドエスの萩原扶未子社長、WWBジャパンの奥谷京子事務局長、NPO法人RE機構の清野眞里恵代表理事が、起業の成功例などを紹介。「人脈を作るこ

起業の成功例などを紹介するパネルリスト

|| 金沢市の労済会館



とが大事だ」「自分の仕事でもあきらめないでほしい」など助言した。

女性起業きずな強く

交流会 初のセミナーで討論

経営に参加したり起業を目指す女性に情報交換の場を提供して悩みの解決や経営能力の向上に役立ててもらおうと、女性起業家交流会(金沢市)は十八日、金沢市西念の労済会館で初のセミナーを開いた。北陸三県から約四十人が討論会などに参加。セミナーを継続開催して、女性に特化した起業支援体制の充実に目指すことを確認した。

討論会のパネルリストは、十月に発足した同交流会の萩原扶未子代表(ジーアンドエス社長)、WWB(女性のための世界銀行)ジャパンの奥谷京子代表、NPO法人RE機構の清野眞里恵代表理事の三人。萩原代表は「女性は売り上げや利益より夢と自己実現に喜びを見いだすので、従来のセミナーは合わない」と指摘。「縦

の序列やルールを嫌った、話しながら悩みを解消する女性の特性に合わせ、気軽に話し合える内容にしたい」と強調した。奥谷代表からは、自らの視点で新商品やサービスを企画提案することが大切。「人が困っていることを手助けすることからビジネスチャンスが生まれる」と提案した。続いて参加者が商品開発、人材育成などテーマごとに三班に分かれて討論した。(瀬戸勝之)

紙面構成・石山典史